

令和3年度

防災と ボランティアの つどい



どなたでも
参加費無料

～能登半島地震・新潟県中越沖地震からボランティアの連携・協働を考える～

平成16年の「新潟県中越地震」以降、被災地の社会福祉協議会が中心となって災害ボランティアセンターを設置・運営することが主流となりました。

平成19年に発生した「能登半島地震」、「新潟県中越沖地震」では、災害ボランティアセンターを通じて、全国から多くのボランティアが被災地に駆けつけました。また、被災地の支援団体の活動が効率的・効果的に展開できるよう、「災害ボランティア活動支援プロジェクト(支援P)」を中心に、人・もの・資金を効果的に被災地に届ける支援が展開されました。

発生から15年を迎える「能登半島地震」、「新潟県中越沖地震」を振り返り、支援者によってどのような連携・協働が進められてきたのか、被災地で尽力された方からお話をお聞きするとともに、これからのボランティア活動について話し合います。

日時：令和4年2月6日(日) 13:30～16:00

オンライン(Zoom) ※Zoomは、申込みをされた方に後日ご案内します。

主催：内閣府政策統括官(防災担当)

開会：内閣府

プログラム

第1部

当時のボランティア活動の連携・協働を振り返る

登壇者

(13:40～14:40)

- ・村田明日香氏(社会福祉法人石川県社会福祉協議会地域福祉課)
- ・稲垣 文彦氏(公益社団法人中越防災安全推進機構理事)
- ・栗田 暢之氏(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事)

第2部

「新潟県中越地震」「新潟県中越沖地震」以降のボランティア活動の連携・協働

登壇者

(14:50～15:50)

- ・中原 敦子氏(社会福祉法人新潟県社会福祉協議会地域福祉課長)
- ・佐藤 貴規氏(社会福祉法人上越市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係)
- ・李 仁鉄氏(にいがた災害ボランティアネットワーク理事長)
- ・明城 徹也氏(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長)
- ・萩原 玲子氏(内閣府 政策統括官(防災担当)付 企画官(普及啓発・連携担当))

お問い合わせ先

防災とボランティアのつどい事務局

株式会社 ダイナックス都市環境研究所 担当：津賀・細川

〒105-0003 東京都港区西新橋3-15-12 GGHOUSE 5F

TEL：03(5402)5355

▶詳しくはWEBサイトで

内閣府 防災ボランティア

検索

参加申込は
こちら

(QRコード)



(URL)

<https://dynax-eco.com/form/tsudo2022/>